

# 東海北陸

Branch Report Vol.54

TOUKAI-HOKURIKU

2011. February



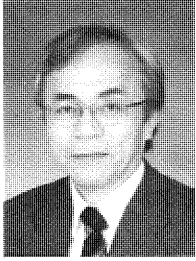
浜松城



社団法人 日本建築積算協会・東海北陸支部

THE BUILDING SURVEYORS INSTITUTE OF JAPAN from Toukai-hokuriku Branch  
<http://bsi-th.052e.com/>

支部長あいさつ	価値と価格の話	支部長 小野 徹郎	1
平成 23 年度支部通常総会及び懇親会開催のお知らせ			2
平成 23 年度建築八団体共催新年互礼会	副支部長	川辺 清次	3
建築積算士更新講習	資格制度委員会 委員長	林 進	4・5
講習委員会だより	講習委員会 委員長	碓谷 智彦	6
愛知県建築技術伝承の現状	教育委員会 委員長	藤井 正王	7
公益社団法人を目指したい	総務財務委員会 委員長	川辺 清次	8
会員委員会だより	会員委員会 委員長	佐藤 佳久	8
設計審査委員会だより	設計審査委員会 委員長	西田 彰	9
ホームページ委員会だより	ホームページ委員会 委員	碓谷 将紀	9
データベース委員会だより	データベース委員会 委員長	植田 隆明	10
将来解体時の建設副産物データ資料募集のお願い	支部長 小野 徹郎 データベース委員長 植田 隆明		10
読めばできる、CPD 登録の簡単な方法	本部資格制度委員会	佐野 洋治	11
ナゴヤドームへ野球観戦にいこう	会員委員会 委員長	佐藤 佳久	12
インターンシップを終えて	富山工業高校	平井 蕉伍・押上 友美・角 葉津希	13
名古屋城本丸御殿復元工事現場見学会に参加して	(株)中建設計	堀田 淳二	14・15
名古屋城本丸御殿復元工事を見学して	東海北陸支部 顧問	杉浦 譲治	16
積算研修会実施について	高塚建築事務所 (社)小松能美建築士会	高塚 巳紀雄	17
会員交流会報告	会員委員会 委員長	佐藤 佳久	18
忘 年 会	広報委員会		19
静岡部会だより	(株)アイピーエス	藤曲 充信	20
岐阜部会だより	(有)エスム積算	松岡 征紀	20
北陸部会だより	北陸部会	笠谷 正	21
2011 年 謹賀新年 積算事務所からの御挨拶			22～25
株式会社 大成出版社			26
財団法人 建築物価調査会			27
TOMO データサービス株式会社			28
編集後記			29
協栄産業株式会社			30



## 価値と価格の話

(社)日本建築積算協会  
東海北陸支部  
支部長 小野 徹郎

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様は日本の経済に明るい光を見いだせない中、それぞれのお立場で頑張っておられることと思います。今年も宜しくお願ひいたします。

ここ数年、社会はあらゆる場面で価格抑制が事業の成果のごとく言われ、それが結果的に価格の過当競争を呼び、いわゆるデフレスパイラルに入ったとさえ言われています。このデフレスパイラルに陥らない基本は、適正な評価による適正価格の設定と適正価格による取引です。辞書(大辞林)によれば、価格とは「物の価値の貨幣による表示」とされており、価格はものの価値によって設定されるものです。価値については、『一般的には:ものが持っている何らかの目的実現に役立つ性質や程度。哲学的には:善きもの・望ましいものとして認め、その実現を期待するもの。経済学的には:商品の価格の背後にあって、それを規定しているもの』と記述されています。こうして見ると物の価格を決める価値は、そのものが持っている本質的な性質や程度を、価格とはそのものによって更に良いものが生み出される価値をお金に換えて表したものといえます。

昨年、ケンプラッツ総合日経B.P社記事へのアクセス数ランク3位は、建築家が依頼主から訴えられた裁判で、東京高裁の判決『設計料を全額返還せよ』に対して、敗訴した建築家が思いを綴った手記でした。そこで建築家が冒頭、「建築設計の仕事を、今回の判決を契機にやめることにしました。」と宣言したこともあり、大きな反響を呼んだようです。詳しい判決の内容は読んでいませんが、双方の価値観の違いとそれに基づく価格評価のずれがそうした結果を生んだと思います。基本的には原告と被告のコスト意識の欠如と法曹界の建築設計に対する現状認識の不足の判決と言わざるをえません。こうしたずれは建築訴訟では多く見られ、そこにこそ本来積算の専門家が設計の上流から活躍すべき現実が見えてきますし、我々建築積算業界に与えられたまた与えられるべき役割です。

積算業務に携わっている者は、対象に含まれる

本質を理解して、価値を正しく評価して、それを時代の経済状況を反映して価格に変換していくことが求められます。従って幅広い専門性を備えて、ふさわしい責任を果たして行くことが求められます。コスト管理士、積算士は、第三者的に適正に価値を評価し、合理的な価格を提示出来る唯一の職能であり、そこに誇りを持ち持続的に実力を備えて行かなければなりません。

そうした状況の中で、私ども積算協会東海北陸支部はその原点に立ち返って活動して行こうとしています。以下、本年度の活動の方向を要約します。

第一は会員増強活動です。本部も会員増強を大きな柱に掲げて会費の値下げをしました。支部としては昨年来、賛助会員の増強を掲げて活動を開始しています。年に1回は会員以外の有資格者に入会を呼びかける懇親会を開催しています。会員増強により会費収入の増加は、会の財政基盤の基本であるはずですが、また会員の増加は相対的に会の社会的価値を上げることにもつながります。

第二は学校教育での積算教育の具体的展開と支援です。本部の積算士補構想に呼応して、東海北陸支部では、昨年から大学、工業高校、専門学校まで含めて4校のモデル校を指定しましたが今年は更に拡大して、建築積算教育の普及を支援しており全国的にトップの実績を残しています。その結果昨年は積算士補の資格を有する学生がかなり誕生いたしました。こうした若年層への積算教育の取り組みは、将来積算界の中核となる人材を育て、ひいては積算界の発展に繋がるものです。講師としての人材が不足しています。会員各位のご支援とご協力をお願いいたします。

第三は資格者の増大と更新教育、継続教育に関する問題を含めた会員サービスの問題です。継続教育としてのCPDに関しては、登録等でコンピュータによる情報処理の能力が幾分必要ですが、支部としては直接お困りの各個人会員を支援していますので是非支部にご相談ください。資格者の増大、継続教育の問題についても本部と連携して各種講習会を開催しています。具体的な情報は支部ホームページに掲載されていますのでご利用ください。

積算は単なる数量拾いではありません。建築の本質的な価値を、論理的な体系の中で公正且つ適正に評価し、適正なコストに変換していくことが積算業界に課せられた使命です。この厳しい状況の中で、それぞれの連携の中で力を合わせて、来たるべき春に備えましょう。

平成 23 年 1 月 吉日

(社) 日本建築積算協会

東海北陸支部正会員 各位

(社) 日本建築積算協会東海北陸支部  
支 部 長 小 野 徹 郎

## 平成 23 年度支部通常総会及び懇親会開催のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は当支部事業運営に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、まだお屠蘇気分が抜け切らない頃かと存じますが、出来るだけ多くの会員皆様方にご出席頂きたく早々のご案内申し上げる次第です。標記通常総会並びに懇親会は、下記の通り開催予定でございますのでよろしくお願い申し上げます。

謹 白

### 記

#### 《通常総会》

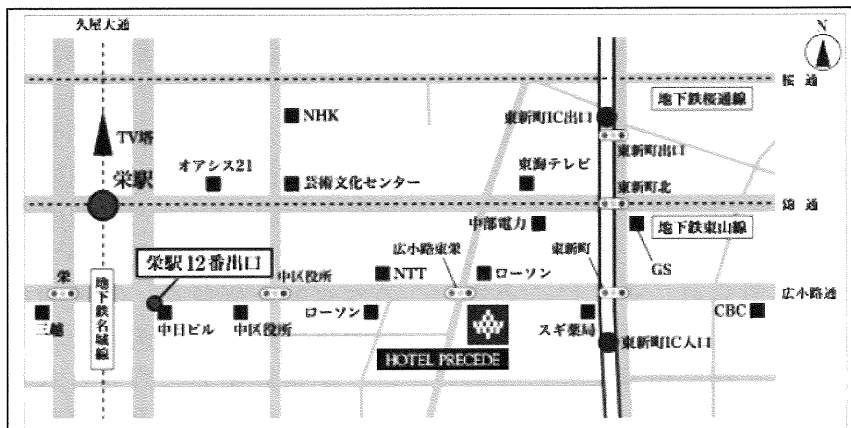
1. 日 時：平成 23 年 4 月 22 日 (金) 16 時 30 分より
2. 場 所：ホテルプリシード名古屋 (ホームページ <http://www.hotel-precede.com/>)  
名古屋市中区栄四丁目 6 番 1 号 TEL (052) 263-3411

#### 3. 議 案

- 第 1 号議案 平成 22 年度 事業報告承認の件
- 第 2 号議案 平成 22 年度 収支決算及び監査報告承認の件
- 第 3 号議案 平成 23 年度 事業計画 (案) に関する件
- 第 4 号議案 平成 23 年度 収支予算 (案) に関する件
- 第 5 号議案 平成 23・24 年度役員選任に関する件
- 第 6 号議案 その他

#### 《懇親会》

1. 日 時：平成 23 年 4 月 22 日 (金) 18 時より
2. ところ：ホテルプリシード名古屋
3. 会 費：6,000 円予定
- 4.



※地下鉄・東山線又は名城線「栄駅」下車 12 番出口 徒歩約 4 分

## 平成 23 年度建築八団体共催新年互礼会

副支部長 川辺 清次

新年 明けましておめでとうございます。

不況の荒波の中で、いまだ先の見通しもつかないままに年があげました。今年は「兎年」です。飛躍の年でありますように、何とか明るい兆しがみられるようにと願っております。

今年の新年互例会は、「社団法人愛知県設備設計監理協会」が主催団体となり、平成 23 年 1 月 7 日の 18 時から 20 時まで、名古屋国際ホテル 2 階の国際ホールにて開催されました。

主催団体の安藤政夫副会長の「開会の辞」で始まりしました。各団体長の紹介、主催団体代表として村上正継会長が挨拶をされました。長引く不況の中、何とか飛躍の年でありたいとお話でした。

来賓挨拶として、神田真秋県知事代理、河村たかし市長代理の方々にお言葉をいただき、引き続き県議会議員の皆様の紹介となりました。

表彰者披露、祝電披露に続き、当協会の小野支部長の乾杯により、和やかに宴会へと移りました。

今年の余興は、名古屋の大須が発祥の地といわれる大正琴でした。澄音(すみね)会の皆様 13 名による大合奏でした。昨年ヒットした「また君に恋してる」などの演奏もあり、皆さんの中には口ずさむ方もいらっしゃいました。最後には和太鼓を入れ、華々しい演奏を聞かせていただきました。

美味しい食事と音楽の中、会場のあちらこちらでは楽しい会話と名刺交換がおこなわれました。残念ながら不況を反映してか、昨年に比べ参加者が少ないように思われました。

会の締めくくりに、待ちに待った大抽選会がはじまりました。1 等から 6 等まで、21 個の景品が用意され、コンパニオンの取り出す名刺の読み上げに、あちらこちらでは狂喜乱舞の雄叫

びと残念との諦めのため息が流れていました。昨年の積算協会は、1 等から 6 等までの 21 商品の内 7 商品を獲得しました。今年は、5 等の「エネルギー充電セット」が棟建築企画のお二人にあたりました。一社に同じ等が 2 本あたるとは、珍事でもあります。ちなみに 2 等は「ホームベーカリー」(但し、「ゴパン」ではありませんでした)と「コーヒーメーカー」、そして 1 等は誰もがほしい最新ツールの「iPad」でした。

最後に、来年主催団体の社団法人愛知県建築士会の会長・佐藤東亜男氏によるご挨拶と一丁締めで閉会となりました。

司会は、小柄で飛びつきり可愛い志村和美さんでした。

### 八団体紹介

- (社)愛知建築士会
- (社)愛知県建築士事務所協会
- (社)日本建築家協会東海支部愛知地域会
- (社)日本建築学会東海支部
- (社)日本建築協会東海支部
- (社)日本建築構造技術者協会中部支社
- (社)日本建築積算協会東海北陸支部
- (社)愛知県設備設計監理協会



澄音会の大正琴

## 建築積算士更新講習

資格制度委員会 委員長 林 進

新年あけましておめでとうございます。

平成 22 年 10 月 24 日に建築積算士一次試験と建築コスト管理士試験が名古屋市の昭和ビルで実施されました。受験者数は建築積算士一次試験が 23 名、建築コスト管理士試験は 2 名でした。建築積算士二次試験は平成 23 年 1 月 23 日に実施予定です。

平成 22 年度 建築積算士（建築積算資格者）更新講習は次のように実施されました。

金 沢 会 場：金沢市近江町交流プラザ

10 月 30 日 受講者数 17 名

名古屋会場：産業労働センター ウィンクあいち

11 月 27 日 受講者数 79 名

e ラーニング受講者数 49 名

金沢、名古屋とも初めての会場でしたが金沢駅、名古屋駅から徒歩圏内でしたので便利で分かりやすい会場だったと思います。数年後には更新講習が e ラーニング（インターネットを使った教育形態）になりますので時間や交通費の節約になります。各会場とも更新講習進行にご協力いただきありがとうございました。

### 名古屋会場

プログラム

総 論

講師 (株)円建築積算

課 長 伊藤 和洋 様

第 1 編 数量単価のチェックとコストコントロール

講師 (株)アイピーエス

常務取締役 藤曲 充信 様

(株)竹中工務店名古屋支店 見積部

副部長 山田 治 様

第 2 編 建築生産に係る社会環境の変化と新技術

講師 (株)フジタ名古屋支店 積算部

部 長 勝野 徹 様



支部長挨拶



総論 伊藤 講師



第 1 篇 藤曲 講師



真剣なまなざしの受講者



資格制度委員も講義に聞き入る



真剣なまなざしの受講者

**金沢会場**

プログラム

総論

講師 (株)みどり建築企画  
代表取締役 藤井 正王 様

第1篇 数量単価のチェックとコストコントロール

講師 (株)硯谷建築積算事務所  
代表取締役 硯谷 智彦 様  
明峰積算事務所  
代表 宮西 繁 様

第2編 建築生産に係る社会環境の変化と新技術

講師 (社)日本建築積算協会 東海北陸支部  
専任講師 塚田 律夫 様



第1編 宮西 講師



第2編 塚田 講師

会場の様子



総論 藤井 講師

建築コスト管理士の資格更新

建築コスト管理士の資格更新は、CPD単位取得が必要になります。5年間で200単位、緩和措置要件に該当する方は150単位を取得することになっております。

「建築と積算」購読で60単位(年12P×5年)

実務実績で100単位(年20P×5年)

200単位必要な方はeラーニング建設プロジェクトマネジメントセミナーで45単位(1コース9P×5コース)合計205単位取得できます。

入力方法がわからない方は東海北陸支部事務局にて実務実績を伺いながら代行入力を2月中旬ごろに実施いたしますので事務局まで申し込みください。

## 講習委員会だより

### 講習委員会

委員長 硯谷 智彦

新年を迎え、講習委員会の今年度の総括と来年度に向けての抱負を報告したいと思います。

昨年11月と12月に、岐阜県建築士事務所協会東濃支部からの要請で出張講習会をセラトピア土岐で開催しました。

要望された講習内容は「建築積算士試験」の為の対策研修会で、二次試験に合格できるような講習をしてほしいという難しい要請でした。

一級建築士の資格を持ち、設計事務所の経営に携っている方々が、今更何で「建築積算士」の資格が必要なのかと疑問を抱きましたが、その背景には岐阜県発注の仕事を受注するためには必要な資格だと聞きました。(どうしても必要と言う訳ではないが、持っているほうが良いと言う程度ですが)

当支部では、数年前から設計審査委員会で設計事務所の予算書をチェックするという作業が行われてきました。その始まりも岐阜県高齢福祉課からの要請で老健施設の入札前の予算書をチェックすることでした。

岐阜県の積算に対する姿勢は、積算協会には大変有難い事であり、「建築積算士」「建築コスト管理士」が全国的に活用されることを願います。

出張講習会から話がそれて来ましたので戻しますが、土曜日で折角の休日を潰し受講された28名の出席者に対し、平成20年度の試験問題をテキストとし、初日は総論・仕上、二日目は鉄骨・躯体を10:00から16:00まで熱心に受講して頂きました。総論では、問題に億単位の計算があるのですが、「普段は億単位の金額になる仕事はしたことがないから計算機の桁数が足りない」と言うような笑い話もあり、又、質問も多数あり理想的な講習会でした。

数多くの講習会を経験してきた私ですが、一番印象に残る講習会となり、来年度の目指す講習会の指針となった気がします。

岐阜県建築士事務所協会東濃支部の皆様、有難うございました。この支部報が発行された頃には二次試験も終わっていると思いますが、受験された全員が合格されますようお祈り致します。(計算機は億単位の桁数まであるものを持参して下さいね)

次に、昨年末で51回を数えた「ここが知りたい積算勉強会」ですが、今年度は4月の第56回まで後4回の予定が組まれています。

昨年から当協会の中国四国支部でも開催されているように、人気の勉強会ではありますが、勉強内容は勿論、参加者の負担、担当委員の負担を考え、来年度はもう少し進化した「ここが知りたい積算勉強会」にしたいと思っています。

「ここが知りたい積算勉強会」の原点は、今更こんな事聞けないよな、もう少し深く勉強したいけど何処で教えてくれるのか?そんな悩みを解消できるような勉強会をしようが始まりでした。データベース委員会と連携し、過去の勉強会でのQ&AもHPにて近々公開する予定です。

今迄は、勉強会参加者のみに質問を受けていましたが、来年度からは遠方で参加出来ない方からの質問も受け付け、勉強内容の要望等も聞かせて頂ければと思っています。

勉強会当日に参加できなくとも、会員皆様が参加できる「ここが知りたい積算勉強会」となるよう改善していきますので、ご協力宜しくお願い致します。



# 愛知県建築技術伝承の現状

教育委員会

委員長 藤井 正王

建築技術の伝承と言う大きな課題を話し合う会議が平成22年度3回に分けて、設計事務所関連の意匠・構造・設備・積算の4団体、建設会社関連の建築・設備4団体及び愛知県建築技術支援センターと愛知県建設部建設企画課が参集し開催されました。

この会議は団塊の世代が定年を迎え、少子高齢化の進行による労働人口の減少とともに、各業界において急激な世代交代が進んでおり、建築業界でも大きな問題となっている。そこで愛知県内の建築技術伝承の現状把握し新たな仕組み作りを提唱できないかを話し合う事を目的とした会議です。

第1回目は平成22年9月10日に開催されました。ゲストとしてNPO法人建築技術支援協会の常務理事太田氏による、建築技術伝承についての講演を聞きました。その内容は①教育普及支援事業②技術支援事業③マンション管理組合支援事業④情報発信事業⑤調査研究事業について、具体例をまじえてお話頂きました。結論として技術伝承とは「在りよう」を考え続ける「知恵と精神の伝承」ではないか。つまり技法や手法を教える事のみでなく、そこに隠されている知恵と精神を伝えることで、私なりに考えると、その結論に至るまでの目的や原理原則を伝えることではないか。教育現場での教え方の方向性がここにあると思います。

続いて事務局のアンケート調査の結果報告がありました。調査項目としては属性について・危機感と必要性について・現況について・具体策について・仕組みづくりについて・その他などに答えてもらう内容です。愛知県内1006社に発送し約4割の406社からの回答を分析した結果で、その中には積算事務所も2社含まれています。

社員の年齢構成は約6割以上が40歳以上であり高年齢化が確実に進んでいると思われます。20人以上の企業で9割以上が定年退職制度を採用している一方、その9割以上が定年退職年齢以上の従業員を雇用しているのも現状です。そのため技術伝承に危機感を持っている企業が8割近くおり、その理由としては、「技術を有している社員がもうすぐ定年を迎える」「若手技術者が、技術が身につく前にやめてしまう」「一部社員に技術が集中してしまう」などに絞られ、特に規模の小さな企業ほど、技術が身につく前にやめてしまう傾向が強いです。また定年退職者の再雇用については4割近くの企業が採用していますが、これも規模の小さな企業ほど取組めないようである。その多くが金銭面を理由にしています。

建築技術伝承を進める為の方法としては、5割近くが組合や協会が中心となって取組むべきとしており、規模が小さくなるほどその傾向が強くなり、期待が大きいことが分かります。またその内容としては、研修やセミナー等の定期開催が最も多く、他に認定資格を設け技能評価をする事、情報誌の発行・発信、人材交流の仲介役としての組織に期待するなどさまざまな意見がありました。

では積算はどうでしょう。何かと時間勝負の所があり、残業の多い職種であります。定年まで従事する人は少なく、また若手の人材も不景気のあおりを受け、かなり少なくなり、採用されたとしても数年で退職する人の多いこの業界、技術伝承以前の問題があり大丈夫なのでしょうか。

今回は建築技術伝承の現状と言う事で、行数もあまりなく、ここまでとします。次回の支部報ではこの続きとして、色々な課題とその解決策?を報告したいと思います。

## 公益社団法人を目指したい

総務財務委員会  
委員長 川辺 清次

平成22年8月26日、第2回総務財務委員会において「当協会は公益法人を目指したい」という結論に至った。平成21年2月20日の平成20年度第1回総務財務委員会の会合より丁度1年半の議論の結果である。

思えば本部は当初より公益法人ありきの方針であったが我々の議論の中で「結論は時期尚早でありもう少し議論しましょう」という事で22年度に継続審議され計6回の委員会で議論された。その間、本部は国土交通省住宅局建築指導課とヒアリングを重ねたり、住宅局で初めての公益社団法人認定を取得したロングライフ推進協会(BELCA)にもヒアリングし我が協会との相異点、審査状況等を聞き、類似点も参考にしている。メリット、デメリットについては、公益というのがかっこいい。箔がつく。税制上メリットがある。デメリットとしては儲けられない。一般人が対象になり会員、資格者にとってのメリットが分かりにくい等があげられた。

私は当初より「愛知建築士会、愛知県建築士事務所協会が公益法人にいち早く目指す事が決定しその動向、結果を見てからでも遅くないのでは」という方針であり、むしろ慎重派であった。

だが結果、5年間というタイムスケジュールと士会も事務所協会も、認可する愛知県側との事前打合せ不足なのか、県の判断基準が不確定だったのか遅れている様だ。それで比較検討する事が困難になった。又、こちら側も締切り間際になると認可が難しくなるのではないかという恐れもあって「目指したい」という結論になった。

今後のスケジュールは、1月の理事会で承認し5月理事会で定款承認、同じく総会決定、秋に内閣府に申請、翌年3月に認定、4月から新公益法人として活動する予定である。

## 会員委員会だより

会員委員会  
委員長 佐藤 佳久

新年明けましておめでとうございます。昨年末より大変厳しい寒波となり、日本海沿岸に位置する地方の皆さんは、大変なお正月を迎えられたことと思います。

会員委員会の活動として昨年は、会員交流会を金沢と名古屋で開催しました（内容については、他の記事をご覧ください）が、平成21年6月4日（木曜日）に行った成願寺以来、現場の見学会を開催することが出来なかったことが課題として残りました。

今後も、現場見学などは継続して開催しようと考えていますので、ご要望がありましたら、協会支部へご連絡ください。

当協会では平成22年10月1日～平成23年3月31日までを会員入会キャンペーンということで、入会金なし、平成22年度の年度会費免除を行っています。

今、会員に入会されると、平成23年度に更新講習を予定されている、建築積算士の更新講習料および登録料が免除になります。（平成23年4月1日現在会員であることが条件です）

**建築積算士の方、今がチャンスです。**  
平成23年度より会費が値下げされます。

### 年会費の案内

個人正会員	9,000円（現行、18,000）
65歳以上の個人正会員	6,000円 （現行、70歳以上20年会員9,000）
法人会員	20,000円（現行、30,000）
第1種賛助会員	10,000円（現行、30,000）
第2種賛助会員	4,200円（現行、8,400）
入会金	は現行のまま

以上です。

## 設計審査委員会だより

設計審査委員会

委員長 西田 彰

今期の設計審査は、岐阜県からの通常の設計審査1件、それと岐阜県とは関係なく某法人からの依頼の1件、計2件が動きました。

後者の1件は、以前、岐阜県からの設計審査を受けられた方からです。「設計審査でチェックをしていただいたことで、現場での数量トラブルがなかった・助かりました。」ということでした。今回、岐阜県とは関係なく特別養護老人ホームを建設されますが、設計審査をしてほしいとのご依頼があり、お受けいたしました。自身満々に「良い積算だと思います。」と設計書を持ってこられました。予備審査で、目いっぱいのエラーが見つかりました。やりがいのある審査でした。

12月に入って、某私立大学より連絡が入りました。これからの工事について、設計審査をして欲しいという依頼です。さっそく12月の中旬に、私と事務局長で学校に伺いました。財政部の部長と係長にお会いしました。

「5億円以下の工事については、特定の業者に任せっきりです。最近、大学側で見積内容を査定する担当者もいなくなり、見積内容が正しいのかどうかの判断をつけることができなくなっています。第三者の目で見見ていただきたい。」とのことでした。このような話は、あちらこちらの大学や企業からも聞かれます。設計内容と見積金額について「学校の理事会で突付かれる」とか「株主総会で追及される」とのことです。

現実問題として、つい最近の新聞にでていました。「T大学の理事長・副理事長の自宅を無料で修繕を行い、学園施設の施工費用にそれらの修繕費を紛れ込ませていた。1億2000万円の所得隠しと認定。」とのことでした。

私達、設計審査委員会の役割の大きさを、しみじみと感じています。

## ホームページ委員会だより

ホームページ委員会

委員 剛谷 将紀

いつも日本積算協会東海北陸支部のホームページを活用頂き、誠にありがとうございます。会員の皆様に少しでも早く新しい情報をお伝えできればと、ホームページ更新に勤めています。その結果、最近はホームページを見ていただいている方も増え、我々ホームページ委員もとてもうれしく思い、やりがいを感じています。

今期は新しい委員も2名増え、新しいアイデアはもちろんのこと、作業的にも分担して今までより更にスピード感のある情報発信ができるかと思っています。

本部のホームページも一新され、eラーニング・CPD等で会員さんが活用しやすい構成になっています。今後、東海北陸支部のホームページにおきましても、会員の皆様がより活用しやすくする為に、ホームページ委員で知恵を絞り、来年度あたりには新しいホームページを作ることができたらと考えていますので、今後とも是非とも活用していただくようお願い致します。

また、会員以外の方にも見ていただき、「建築積算」を広く一般に知っていただけるようなホームページを今後も目指していきたいと思っていますので、もしお仕事上で積算を詳しく知りたいという方がおられましたら、東海北陸支部のホームページをPRしていただけるよう、ご協力お願い致します。（「積算 東海北陸」と検索していただければ、当たり前ですがトップにきます）

今後も会員の皆様にホームページを通じて下支えし、「建築積算」を広く一般の方にご理解いただけるようなコンテンツを作り続けますので、せめて1月に1回はアクセスしていただけるようお願い申し上げます。

## データベース委員会だより

データベース委員会  
委員長 植田 隆明

新年あけましておめでとうございます。今年  
は兎年です。恒例の干支にまつわる言葉を探し  
てみました。みなさんの人生における格言はあ  
りますでしょうか。

- ・二兎を追う者は一兎を得ず
- ・鹿を逐う者は兎を顧みず
- ・脱兎の如し
- ・年劫の兎
- ・兎を見て犬を放つ
- ・兎の耳
- ・兎の上り坂
- ・兎の角論
- ・兎の昼寝
- ・兎波を走る
- ・狡兎三窟
- ・始めは処女の如く後は脱兎の如し

データベース委員会の活動状況をご報告いた  
します。

1. ここが知りたい積算勉強会の質疑回答資料の  
データ（平成21年度版）は近々に発表予定で  
す。
2. 学校建築の将来解体時建設副産物のデータ  
化はサンプル数67件のご提供をいただき近々  
に発表予定です。また、次のデータは病院建築  
です。資料御提供を募集中です。多数のご提供  
をお待ちしています。
3. 積算結果表のフォーマット『コストデータ表』  
はホームページに掲載中です。自由にご利用を  
してください。

データベース委員会では会員の皆様のご要望  
をいただき、使えるデータベース構築を進めて  
いきたいと思っています。忌憚のないご意見・  
ご要望をお願いいたします。

## 将来解体時の建設副産物データ資料 募集のお願い

(社)日本建築積算協会東海北陸支部  
支部長 小野 徹郎  
データベース委員長 植田 隆明

いつも日本建築積算協会東海北陸支部の事業  
にご協力を賜り厚くお礼申しあげます。データ  
ベース委員会では将来役立つデータとして、「解  
体副産物数量積算システム」に取り組んでまい  
りました。今回は第三段として、病院建築をテ  
ーマに選定をいたしました。

皆様よりご提出いただきましたデータをもと  
に、建設副産物別の数量を算出できるようにシ  
ステム開発目指しております。

データは多いほどより正確な数量に近づくと  
考えますのでたくさんのご応募をお待ちして  
おります。

以下の要領にて資料のご提供をお願いいたし  
ます。

1. 用 途：総合病院（医院は除く。看護師宿  
舎等の付属建屋は除く）
2. 工事場所：県名明記
3. 構造区分：SRC造 S造 RC造 免震  
構造の有無 階数明記
4. 積算年代：年のみ西暦表示
5. 面積表示：建築面積及び延面積
6. データ資料：建築工事の金抜き内訳書  
（エクセルデータ）
7. 募集期間：平成23年2月末までにお願  
いいたします。（その後は随時受け付けます。）
8. マンションと学校建築の追加データも合  
わせてお願いいたします。（データを更新予定）
9. 提出場所：日本建築積算協会東海北陸支部  
事務局までEメールにてご送付ください。

電話 052-264-0661

FAX 052-264-0662

E-mail [toukaihokuriku@bsij.or.jp](mailto:toukaihokuriku@bsij.or.jp)

## 読めばできる、CPD登録の簡単な方法

本部資格制度委員会

佐野 洋治

建築コスト管理士の皆様、CPD制度は2006年より運用開始されており、2011年3月で、最初の登録建築コスト管理士は資格登録の期限がまいります。

そこで、CPD登録のサンプルを羅列しますから、登録時の参考にして下さい。

### A. 実務実績の登録

1. 研修年月日は年度ごとの登録となり、

2006年10月1日—2007年3月31日

2007年 4月1日—2008年3月31日

2008年 4月1日—2009年3月31日

2009年 4月1日—2010年3月31日

2010年 4月1日—2011年 登録日

この期間で5回分として登録します。

2. 形態は、【25】実務実績 を選んで下さい。

3. 分野は、自分に合ったものを選んでもらいますが、迷う場合は、【29】関連分野 として下さい。

4. プロジェクト名は、実際のプロジェクト、又は、1つのプロジェクトには少ない時間で年間を通して行った場合は、建築生産過程における積算コストにかかわる業務実績 として下さい。

5. 主催は、勤めている企業名・経営している会社名 にして下さい。

6. 内容は、コスト管理等に関わる内容を簡潔に記入する。(文字数注意)

7. 修得した内容は、建築コスト管理士としての能力発揮・自己研鑽内容等修得した事柄を説明する。(文字数注意)

8. 研修単位は、必ず 20単位 として下さい。このように5回分を入れると100単位取得できます。

### B. 自己申請 (協会会誌「建築と積算」の購読)

1. 研修年月日は年度ごとの登録となり、前述の実務実績と同じように、5年分を5回で登録して下さい。

2. 形態は、【19】専門雑誌購読「建築と積算」

を選んで下さい。

3. 分野は、自分に役にたったものを選んでもらいますが、迷う場合は、【29】関連分野 として下さい。

4. プログラム名は、協会会誌「建築と積算」の購読 として下さい。

5. 主催は、日本建築積算協会 として下さい。

6. 内容は、コスト管理等に関わる内容を簡潔に記入する。(文字数注意)

7. 修得した内容は、建築コスト管理士としての修得した内容を説明する。(文字数注意)

8. 研修時間は、必ず 24時間 として下さい。このように5回分を入れると60単位取得できます。自己申請の他のタイプを説明します。

### C. 自己申請

①その他団体等の会誌・機関紙の購読

建築関係の雑誌については、1年間で、自己申請により、自己学習型・専門雑誌購読・その他団体の会誌・機関紙の購読 として、1冊 2時間で登録すれば、上限12時間で、6単位申請できます。このように5年分を入れると30単位取得できます。

②専門図書の購読

専門図書については、1年間で、自己学習型・専門図書による勉学・専門図書による自己研修 として、申請できます。

このように専門図書単位で、1年間何回も入れ、上限20時間を入れると5年間で、100単位取得できます。

③現場建学会の参加

現場建学会の参加については、実質見学時間で登録すると、上限はありません。

ここまで登録できれば、これ以外は、本部ホームページより、BSIJ-CPDシステムの分類と単位を見て登録して下さい。

！ 問い合わせは、気楽に支部まで ！

平成23年1月

会員各位

(社) 日本建築積算協会東海北陸支部

会員委員長 佐藤 佳久

# ナゴヤドームへ 野球観戦にいこう

“新年明けましておめでとうございます” 新しい年の始まりとともに全てが活発に動き出す今日この頃です。

さて、本年もナゴヤドーム・ライト側外野指定席を会員の皆様にご提供いたします。

ご希望の試合日を下記要領にしたがい記入して支部事務局まで、FAX 又は E-mail でお申込みください。ただし、会員（平成23年4月1日現在）に限ります。

会員一人一試合のみ（2席分）とし、複数申し込みをされた場合は無効とします。

下記用紙を利用し FAX で申し込まれても結構です。多数の応募をお待ちしています。

なお、平成23年度公式戦応募枠日程は3月上旬に東海北陸支部ホームページの会員サービスに掲載します。(http://bsi-th.052e.com/)

—記—

1. 申込日 月 日 ( 曜日 ) 中 日 × ( )

2. 申込者 氏 名 会員番号 ( )  
住 所 〒

電 話

3. 締切日 ホームページに掲載します。

◇ ご応募者が多数の場合は抽選とし、発表はチケットの発送をもって発表にかえさせていただきます。

4. 申込先 〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目3番26号 昭和ビル2階  
(社)日本建築積算協会 東海北陸支部事務局 宛  
電話(052)264-0661 FAX(052)264-0662  
メールアドレス: toukaihokuriku@bsij.or.jp

## インターンシップを終えて

富山工業高校 平井 蕉伍

積算という仕事は材料費、労働費などの工事費を構成する費用を積み上げ全体の工事費を計算する業務です。明峰積算事務所でのインターンシップでは、解体する小学校に使われている建築材料を図面から拾って計算するという仕事をしました。図面に色をつけたりするなど工夫することで、すばやく間違いを無くすことができます。

仕事をする上で組織力というものはとても大切だと学びました。一つの仕事を分担し、どのようにしたら作業効率が上がるのかなどを考えながら時間を大切にすることで多くの作業をこなすことができます。

最初は、解体してしまう建物からなぜ数字を拾わなければいけないのかなど、積算についてよく分からないこともあったけれど、作業していく中で積算についての理解を深めることができました。現場の作業の前には積算などの事前の準備が必要で、それはいろいろな場面でも大切になってくることだと思います。

富山工業高校 押上 友美

私はインターンシップで、建築の見積内訳書や数量明細書などを作成している明峰積算事務所に行ってきました。ここでは三日間、小学校を解体する際にどれくらいの鉄柱等を再利用できるか、資料を見ながら計算をしていきました。最初は今自分がやっている事が何か分からずに仕事をしていましたが、社員の皆様が一回一回丁寧に教えて下さって内容の濃い仕事にすることが出来ました。中でも、私たちが分かりやすいように、鉄筋を色で分ける事など、工夫して教えて下さった事がとても嬉しかったです。おかげで鉄筋が何種類あって何個あるかがとても分かりやすかったです。この仕事を通して今自分がどのくらい出来るのかなど自分の価値が分かりました。また自分の役割を理解すると同時に、社員の情報を知ることが必要だと知りました。

今回実際に働いてみて、与えられた仕事がどれくらい大切なものか分かり、きちんとしなくてはという気持ちにさせられました。

富山工業高校 角 葉津希

今回明峰積算事務所でお世話になり、いろいろ学ぶことがあった。初めは、積算というのはどのような仕事なのか分からず戸惑った。私は三日間、主に土工事拾いを教えていただいた。エクセルというものは一年間に授業で数回使用する程度で、思うように使うことができず困った。しかし、何時間もやっているうちに土工事拾いの内容・やり方も理解でき、エクセルも使いこなせるようになり自分なりに進歩したと思った。

代表の宮西さんに言われた言葉は一つ一つが印象深かった。中でも「社会に出ても勉強する！大人やプロでも勉強する！」という言葉が強く印象に残った。新しいことを取り入れるために勉強はかかせない。私たちが、今高校でしている勉強ごときで弱音を吐いていたら駄目だと思った。もっと頑張らなくてはならない。

お忙しい中、私たちのために時間を割いていただきありがとうございました。

## 名古屋城本丸御殿復元工事現場見学会に参加して

(株)中建設計 堀田 淳二

### ■はじめに

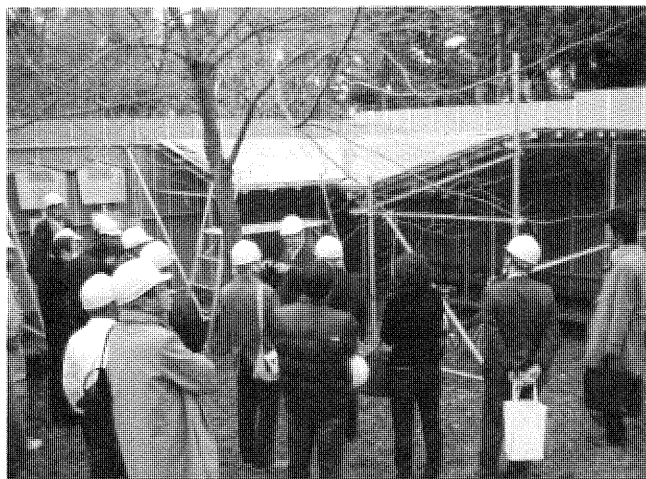
平成 22 年 12 月 7 日名古屋城本丸御殿復元工事の見学会があり、当協会からも杉浦顧問はじめ 10 数名の方が参加されました。

当日は、ハザマ・松井建設・八神建築 JV の奥野所長並びに魚津社寺工務店の魚津社長から興味深いお話を伺う事ができました。その内容や見学会の様子などを簡単に紹介させていただきます。

### ■計画の概要

構造：木造平屋建て、こけら葺き  
 平面構成：玄関・表書院・対面所など  
 規模：床面積 約 3,100 m<sup>2</sup> (約 940 坪)  
 工期：平成 21 年 1 月から三期 10 年  
 工事金額：約 150 億円

\*金額の 1/3 は市民からの寄付「平成の市民普請」による。



### ■計画の意図

この計画は 1) 現場を見せる、2) 創建時の復元、3) 地元の職人の技術を育てる、という大きな考えに基づいて進められているそうです。

### 1) 現場を見せる

一般公開の工事見学コーナー及び、木材加工場、原寸場、素屋根の内部に復元工事の様子を見渡せる見学通路が整備されています。

木材加工場では桧材の見事さに圧倒されるとともに、あの独特の清々しい香りが漂い何ともいえない幸せな気分を味わうことができました。また、見学通路からは複雑に組まれた小屋組を真近に見ることができ、技術の高さに驚くばかりでした。

### 2) 創建時の復元

残された文献・実測図・古写真をもとに寛永期(1624～1644年)の創建当時の姿で忠実に復元工事が進められているとのことでした。このことは単なる建替えではなく、文化的価値を見出すとのことでした。

ちなみに、焼失前の建物は何度かの増改築や、屋根がこけら葺きから棧瓦葺きに、また妻飾りが木連格子から漆喰塗り込めにといった変更がなされてきたそうです。しかし、ほとんどが創建当時の姿が残っていたようです。

昭和 20 年の空襲によって城郭・本丸御殿とも焼失してしまいましたが、幸いにも襖絵・天井絵・障壁画は焼失を免れました。これらをもとに平成 4 年から本格的な復元模写をおこなっているとのことでした。これらは「狩野派」の絵師によるもので、焼失を免れた 1,047 面が重要文化財に指定されているとのことでした。

今まで知りませんでした、名古屋城は城郭として国宝第 1 号に指定されていたということと、本丸御殿は「近世城郭御殿の最高傑作」との評価を受けていたことをご紹介します。



### 3) 地元の職人の技術を育てる

「地元の職人に伝統技術・工法の技を更に磨いてもらい後世に伝えよう。」ということで東海三県を中心に人材・資材を調達しようとしてきました。しかしながらそれは難しく、京都・吉野・出雲など重要文化財をたくさん保有する地方の職人や資材に頼らざるを得なかったのが現実だったそうです。

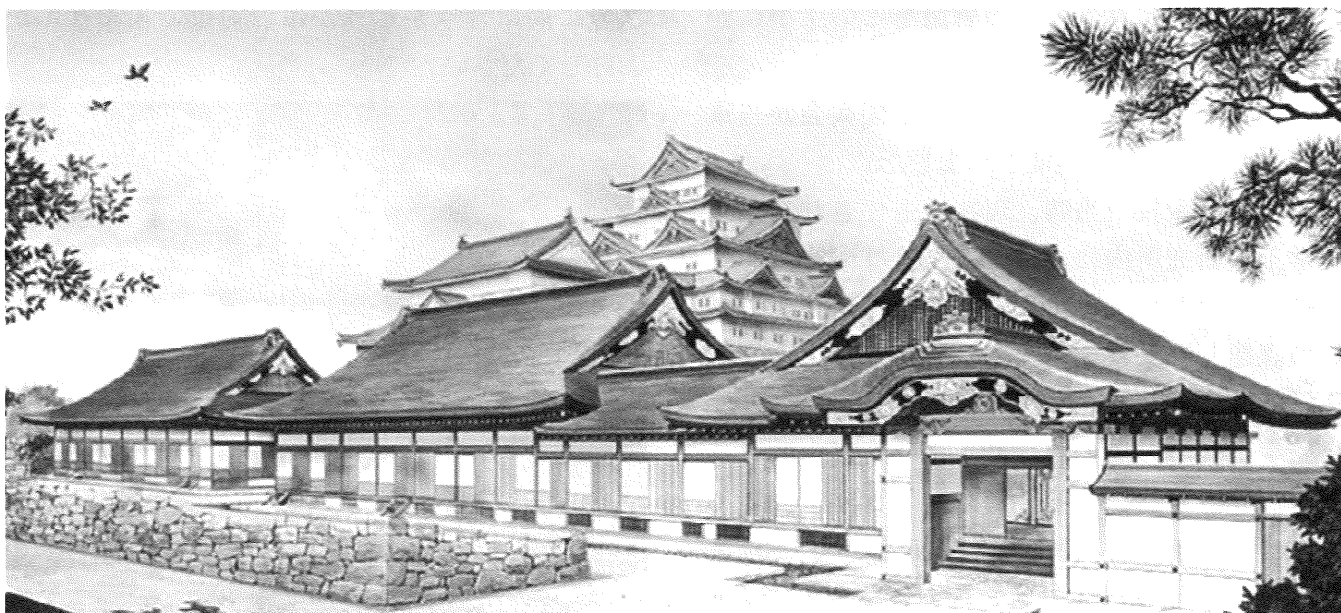
特にご苦労されているのが木材の確保のようで、例えば柱に使う桧材は、芯去り材7寸角・材長8m前後・三方又は四方無節の良材で1,000本近く必要とのこと。樹齢300年を越す樹でないと木取りができないというお話でした。ちなみに木曽産は柔らかすぎるので、吉野産を主流にしているとお聞きし、少し以外な気がしました。



### ■終わりに

魚津社長によると、「このようなプロジェクトに携われる機会は二度と訪れないのではないかな。この仕事が終わると新築物件では価格競争に負けてしまうので、社寺の補修程度の仕事をこなすしか道は無いのかな。」と言われていたのが印象的でした。しかし、現在本工事に従事している大工さんの平均年齢が30歳台ということで、何か救われた気持ちになりました。しかしながら彼らにとってここで学んだ技が再び発揮できる社会にならなければ、伝統的な大工の技ひいてはそれに伴う伝統文化が失われかねないと改めて痛感しました。

名古屋の街の成立ち、名古屋城築城の経緯や歴史については、本支部報No.50号記載の「近世武家文化の精華 名古屋城本丸御殿」/名古屋工業大学大学院教授 麓和善 著や、「名古屋城本丸御殿の復元に向けて」/名古屋城整備室 著に詳しく紹介されています。また、名古屋市の公式ホームページにも詳しく載っていますので、興味のある方は、是非ご覧ください。



## 名古屋城本丸御殿復元工事を見学して

東海北陸支部 顧問 杉浦 譲治

昨年の暮れに会員委員会のお世話で名古屋城本丸御殿の復元工事現場を見学させていただきました。改めて日本の匠の技術の一端を見ることが出来て新しい感動を覚えました。2009年の着工から10年余の歳月をかけて2018年に復元工事が完成するとのことでした。

加工場に並べられた大口径の良材を見るにつけ、良くこれだけの材木が国内で集められるものだと感心しました。柱を例にとっても芯去りの無節材が1000本も必要とのことでした。普通現在の流通の中では大量生産、大量消費の状態の中でコストダウンが図られるのが常識ですが、木材特にここで使用するような良材の世界ではまったく逆で、大量の同じ材料を集めるためにはコストが高くなるのだとお聞きしてなるほどと思いました。匠の技術の伝承者が少なくなり材料を育てる山林の荒廃が叫ばれているとき、今後このような大規模な復元工事は人不足、材料不足、コスト高で実現が難しくなるのではないかと考えさせられます。

それにつけてもこれらの工事を建造時の権力者はいったいどれだけの費用をこの工事にかけたのかとふと考えさせられました。

2001年金沢で第11回の全国大会が当東海北陸支部の当番で開催されました。

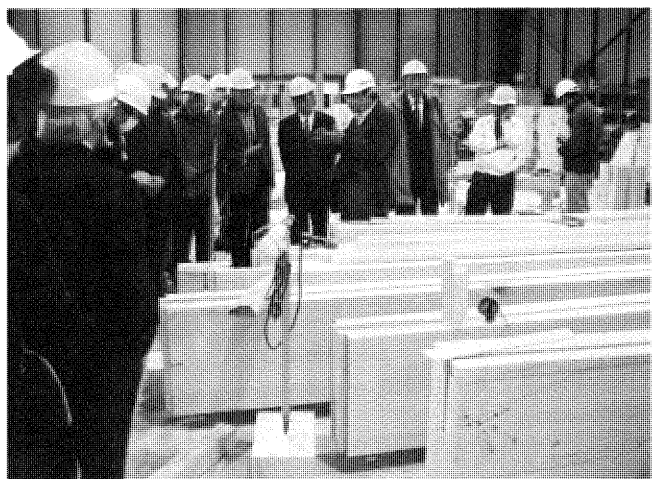
神奈川大学教授（当時、現在は退任され神奈川大学工学研究所内にある「町づくり研究所」にご勤務）の西和夫先生に「積算の歴史そして今後の課題」というテーマでご講演を頂いたことを思い出しました。

先生は長崎の出島の復元工事など歴史的建造物の復元工事に携わっておられますが、先生の著作に「江戸建築と本途帳（鹿島出版会・SD選書）」があります。本途帳とはいわば当時の見積

もり資料ですが、江戸期の職人たちや当時の建築界の状況を理解するための史料としてこの本途帳を取り上げておられます。また、当然ながら積算技術の歴史的発展についても触れておられます。

私はこの本を読んでその内容についてもう少し詳しく知りたいと思い先生にお手紙を差し上げた所、丁寧なお返事とともに先生の学位論文のテーマである「近世日本における建築積算技術の研究」を頂きました。私にとっては貴重な宝物です。建築学会の論文集の中でも積算をテーマに取り上げられたものは非常に少なくそれだけに我々にとっても貴重なものといえるでしょう。たまたま12月に平戸・長崎の小旅行で長崎出島を再訪し、又同じ月に本丸御殿復元現場を見学できたのも何かの縁なのでこの御殿の建造に当時の権力者はどのくらいの費用を掛けたのかを先生のご研究資料を拝借して推理してみたいと思っています。勿論それには先生のお許しを得なければなりませんし多少の資料も手に入れなければなりません。

次号に間に合うかどうかはお約束できませんがお許しください。



木材加工場

## 積算研修会実施について

高塚建築事務所 (社)小松能美建築士会 高塚 巳紀雄

現在の建築界を取り巻く環境はリーマンショック以来さらに厳しく、コスト削減等の実現のために、建築工事の発注方式も多岐に渡り、建築積算は、公共工事のみならず民間工事においても、ますますその重要性は高まっています。

小松能美建築士会では小松建築設計監理協会、(社)日本建築積算協会 東海北陸支部 北陸部会と共同で建築積算をこれから始められる方や、もう一度建築積算について勉強したい方を対象に平成21年、22年に9回に分け「わかりやすい建築積算研修会」を企画しました。

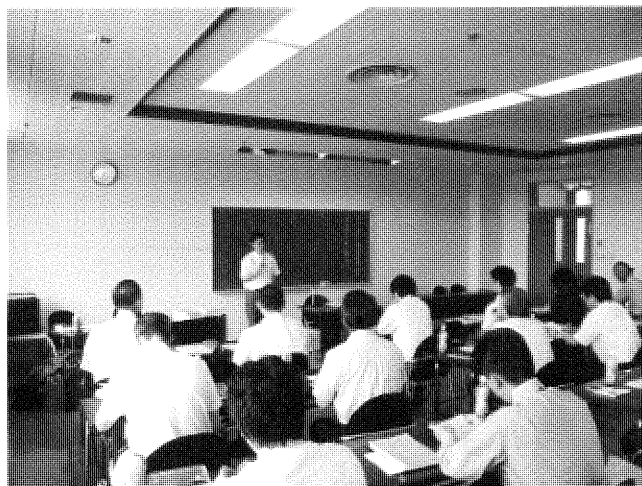
講師として(社)日本建築積算協会 東海北陸支部北陸部会明峰積算事務所 代表 宮西 繁 様をお願いいたしました。

### 研修内容

- 第1回 躯体積算土工事編根切・床付地業、計画図
- 第2回 躯体初級編 (コンクリート・型枠・鉄筋)
- 第3回 内訳書の構成種目、科目、細目明細書
- 第4回 鉄骨編鉄骨、溶接、耐火被覆
- 第5回 仕上(前編)内部仕上 数量積算の合理的な考え方、基準説明
- 第6回 同上 建具・間仕切 建具塗装、シール・モルタル、ガラス類の拾い
- 第7回 同上(後編)造作、木工軸組み、造作材の拾い方、基準説明
- 第8回 同上 外部仕上 屋根・外壁編
- 第9回 改修工事 外壁面補修 打放・モルタル面とタイル面の改修

研修時間 13:30～16:30

会場 小松市民センター 2階 (視聴覚室)



研修会の様子

講習内容は独自のテキストを用い、「建築数量積算基準」に沿ったものであり、解説及び実習を通して、大変わかりやすいものとなっていました。また建築積算の資格取得のためではなく、実務(実力)として積算能力を身に付けることを目指した研修会とのこと。各回の講座は講師のユーモアがありやさしい説明や拾い方のコツを聴くことができ好評でした。

初年度の参加者数は平均講座あたり約30名、次年度は約19名でした。通しで参加された方や職種や業態、熟知度によって講座を選択された方もいたようです。

参加者は講習が即仕事に反映される所から真剣に講座を受けられていました。

時代は壊して新たに建てるから改修して使う時代に変化しています。そこで最初は予定になかった第9回外壁面補修を開いて頂きました。今回の講習を機会にして自分の苦手分野である木工事、鉄骨工事にも挑戦してみようかと思えます。

今回講師をしていただいた宮西先生にはわかりやすい講座をありがとう御座いました。

## 会員交流会報告

会員委員会 委員長 佐藤 佳久

新年明けましておめでとうございます。

平成22年度会員交流会は、名古屋会場と金沢会場で開催いたしました。今回は、非会員の皆さんに協会活動を知っていただき、入会のきっかけになればということで、今年度更新講習の対象になっている建築積算士へも参加を呼びかけました。交流会へ参加しやすくということで、会場は、更新講習会場近くで、時間は、講習会終了後ということにいたしました。その結果、名古屋は6名、金沢は、2名の参加がありました。来年度も同様に参加の呼びかけを行いたいと考えております。

### 名古屋会場

開催日時 平成22年11月27日(土)

17時15分から20時

開催場所 愛知県産業労働センター(ウイंक愛知)地下1階 「つくねや本舗」

参加者 36名(会員30名 積算士6名)



小野支部長の挨拶



会員の意見をメモする支部長



女性積算士との語り



参加者全員でハイポーズ

### 金沢会場

開催日時 平成22年10月30日(土)

17時30分から20時

開催場所 金沢市武蔵町 「座・いっく」

参加者 16名(会員14名 積算士2名)



終了後はグループに分かれ片町のネオン街へ、ご帰還は午前様とか

# 忘 年 会

## 広 報 委 員 会

新年明けましておめでとうございます。

昨年12月13日(月)に栄太郎中日ビル南店において総勢41名参加の忘年会が行われました。

例年と同様、忘年会の前に昭和ビル9F会議室にて役員会も行われ、CPDの登録及び単位の取得及び今後の協会の方針などとコスト管理士の試験及び面接等の報告と各委員会及び部会報告があり、忘年会の場所へ移動しました。

忘年会では先ず、支部長より今年度の活動に対する労いの内容と当協会における活動に対しての挨拶があり、藤井副支部長の乾杯の音頭により忘年会が始まりました。



歓談中



歓談中

各テーブルでは1年間の委員会活動に対する労いの言葉などもあり、そして今年度改選になる各委員会の話など、1年間の各委員会活動に対して、又、現在の状況など話しながら1年をお互い振り返っていました。

又、今回も当協会の講習委員会で行っていることが知りたい積算勉強会に参加されている方、協力業者の方も参加され盛り上がった宴席でした。



紅一点

宴会の途中くじ引きによる抽選会もあり、商品が当たった方もそうでない方も参加賞を貰い、参加者は大いに盛り上がった会場でした。



抽選会

川辺副支部長の中締めにより約2時間の忘年会は終了し、2010年の積算協会の行事は無事終了しました。その後は皆さんは夜の栄に消えて行かれました。

最後に各委員会の方々に1年間のご協力を頂きましてありがとうございます。



集合写真

## 静岡部会だより

(株)アイピーエス 藤曲 充信

今年も日本建築積算協会東海北陸支部並びに静岡部会をよろしくお願い申し上げます。

リーマンショックから2年が過ぎますが、不況が定着してしまった感があります。建設業界もまだまだ曇りがちで晴れ間を探して、中々見つからない今日この頃です。しかし、嘆いているだけでは前に進みません。お客様の要求をしっかりと受け止め理解し、その課題をどの様に解決するかを、お客様の立場に立ち、解決の糸口は必ず現場にあると確信し、行動していく事だと思います。どんな仕事も「より正確に」「より早く」「より安く」を追求し、「根気と体力」「素直さとやる気」があれば、この危機をチャンスに変える事も可能かと思えます。建設業に携わる皆様、常にプラス思考で物事を考え、共に頑張ろうではありませんか。

私は、協会に所属して13年ですが、役員と講習・教育の委員を仰せつかり活動しております。また、静岡部会にも所属しておりますが、部会自体は休眠状態であり、今年こそは交流会（飲み会）からでも始めたいと考えております。近日中に計画致しますので、皆様方のご出席をお願い申し上げます。また、支部の教育委員会活動の「積算授業」を、昨年も県立浜松工業高校学校のお力添えを得て開催する事が出来ました。内容は例年どおりでしたが、昨年の9月15日、9月29日、10月6日、10月20日、11月2日に50分授業を計15回行い、「積算士補」の学科試験を11月5日に実施して、受験者37名の内合格者21名で合格率は57%でした。静岡部会としては、第二第三の学校（工業高校・専門学校・大学）が参加して頂ける様な環境創りをして参りたいと思えます。また、支部報を読まれました学校・教育関係者の皆様におかれましては、積算授業を通じて建築積算の全般的基礎知識、積算基準や建築積算の実演を生徒の皆さんに体験していただき、積算士補の資格に挑戦して、建築への足懸かりとして頂ければ幸いです。

## 岐阜部会だより

(有)エスム積算 松岡 征紀

平成22年度の岐阜部会の活動の中から一部を紹介します。

7～8月に、岐阜部会恒例の「建築積算教室」が岐阜県民ふれあい会館で開催されました。「仕上」・「木造・鉄骨」・「躯体」の3回（3日間）で行われ、地元の高校生も含め各回10数名の参加者がありました。参加者それぞれが「積算」の基礎や実践を学ぶ事が出来たと思えます。

8月下旬、蒲郡・岡崎へ1泊2日の研修旅行に行きました。参加者は三河部会のお2人を含め9名と、やや少なめでしたが、「生命の海科学館」・「岡崎城」・「八丁味噌蔵」などを見学し、2日間有意義に研修をしました。

12月15日には、JR穂積駅北口にある「市橋屋」さんで、平成22年度の忘年会を開催しました。

当日は東海北陸支部の川辺副支部長、三河部会の山本相談役を来賓としてお迎えし、合計10名で行われました。

景気は多少持ち直しているとも世間では言われています。しかし我々にいまだその実感はなく、ひたすら我慢の時であり、その我慢も限界にきているとはいえ、それを乗り越えていかななくてはいけないといった話がありました。そういった今年1年の反省と来年の抱負を肴に歓談し、親睦を深めました。

最後に、岐阜部会への参加者が少なくなっているのが寂しい限りです。部会員の方の参加、また非会員の方の入会をお待ちしております。



8月の研修旅行での1コマ

## 北陸部会だより

北陸部会 笠谷 正

### ◆建築コスト管理士の単位取得勉強会の実施

10月9日(土) 富山市内 受講者3名  
 担当：佐野副支部長、

10月15日(金) 金沢市内 受講者2名  
 担当：宮西北陸副部会長、  
 支部道家事務局長、

10月30日(土) 担当：佐野副支部長、

10月30日～12月27日まで、石川地区、2名、  
 福井地区5名へ支部からのハガキ資料について、電  
 話応対しCPD登録する。担当：宮西、道家

### ◆地域部会の勉強会の実施

11月12日(土) 石川県小松市  
 共催：(社)石川県建築士会、  
 小松・能美建築士会の中で、平成21年から22年  
 に9回に分けておこなわれました。わかりやすい積  
 算研修会(アンコール講習)外壁改修工事を開催、受  
 講者出席の平均17名

11月15日(月)から12月4日(土)までの5  
 回を開催、主催(社)富山県構造物解体協会の解

体工事勉強会へ出席、廃材分別の拾い方、躯体仕  
 上げ材の拾い手法に講習参画する。計=36名

### ◆支部講習会への参画

10月30日(土) 金沢市内近江町市場内まなび一  
 館4階、建築積算士更新講習受講者17名出席

★別室にてCPD登録者2名の参加登録をサポ  
 ★更新講習、CPD登録の修了後積算士会員交流  
 会：14名の出席があり好評であった。

★会員交流会参加後、正会員へ1名申し込み登録  
 有りました。

### ◆平成23年度は北陸部会の役員改選です。

＜役員の仕事について補足＞

会 長：北陸部会を統括する。本支部役員を兼ね  
 る役員会の代表者。

副会長：各県の代表窓口。会長の代行。

幹 事：北陸部会の運営について提案、検討、実  
 践する。役員会の構成員。

各委員会：各県において講習、教育、広報の副部  
 会長の役員会の承認を得て補佐をする。

監 査：北陸部会の活動及び経理について監査す  
 る。他の役員への指導、助言する。

**パソコンデータをお送り下さい。  
 大量にコピーやプリントするなら  
 印刷の方がキレイでお得です。**

●目安は500枚以上あれば絶対に印刷の方がお得です。

**自費出版のお手伝い** 俳句集や詩集、自叙伝、社史、  
 小説や写真集、予算に合わせて  
 ご提案をさせていただきます。

**ホームページ作成** ホームページ更新されてますか？  
 簡単更新ホームページや  
 通販サイトの構築ご相談下さい。

**写真撮影承ります** デジカメにてカタログ商品撮影、  
 建物撮影、メニュー撮影、  
 スナップ撮影など承ります。

**動画ムービー編集** PR用のDVDやwebムービー、  
 プレゼン資料から結婚式ムービー、  
 サプライズムービー作成など

## 簡単更新ホームページ

ブログでは、いろいろな制約がありすぎて使いにくい。  
 かといって本格的にHTMLやFlashで作成されたものは、  
 なかなか自分では更新できない。でも簡単に更新ができて  
 雰囲気のあるものを自由に作成したい…。簡単更新ホーム  
 ページは、トップページはHTMLで自由に作成でき、サブ  
 メニューや内容はブログ感覚でブラウザから入力すること  
 で更新が可能です。詳しくはお問い合わせください。

●営業品目  
 書籍印刷物・記念誌・会社案内・カタログパンフレット  
 チラシ・ポスター・メニュー・新聞・伝票類・フォーム印刷  
 メモ帳・手帳・名刺・封筒・はがき・DM・カード・券  
 プログラム・賞状・案内状・シール・ラベル・しおり  
 包装紙・ビニール袋・カレンダー・のし紙・文集製本  
 CDジャケット・手さげ袋・パッケージ・タミー缶・マグネット・  
 各種紙加工(折り、穴、ミシン、断裁、製本)  
 DTPデータ制作・PDFファイル作成・ホームページ制作・  
 ビデオ編集・CD、DVD作成・オンデマンドプリント・大判プ  
 リントアウト・ラミネート加工…他

あらゆる印刷物のデザインから印刷・製本コンピュータ関連サービスまで  
 PRINTING & COMPUTER SERVICE

**山田印刷所**

詳細は  
ホームページを  
ご覧ください


**012-012-2992**

TEL.0572-68-2992 FAX.0572-68-7417

URL <http://www.ymdp.jp/> 瑞浪市山田町510番地

# 2011 謹賀新年

## 積算事務所からの御挨拶



BSI 日本建築積算協会 東海北陸支部

本部理事  
支部長 小野 徹郎

事務局 〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目3-26 昭和ビル9階  
☎ (052)264-0661 FAX(052)264-0662  
E-mail toukaihokuriku@bsi.or.jp  
URL http://bsi-th.052e.com/

IPS

代表取締役  
内田 宏康

株式会社 アイピーエス


本社 〒435-0036 静岡県浜松市渡瀬町1000の3 TEL.053-461-8866 FAX.053-461-8854  
東京営業所 〒133-0056 東京都江戸川区南小岩5-6-14 TEL.03-5694-0636 FAX.03-5694-2415  
IPS E-mail : ips@inh.co.jp  
社団法人 日本建築積算協会 東海北陸支部 講習会委員  
社団法人 日本建築積算協会 東海北陸支部 事務所部会長

住宅金融公庫特定業務  
登録建築士事務所

生田一級建築設計室

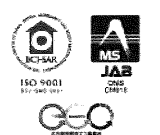
設計・積算  
設計室長 生田 孝文

〒501-6232 岐阜県羽島市竹鼻町東町1丁目3240  
TEL (058) 392-0084  
FAX (058) 391-7676




株式会社 浦野設計

URANO ARCHITECTS & ENGINEERS



代表取締役社長  
浦野 廣高  
技術士(建設部門)

名古屋本社 〒452-0815 名古屋市中区八筋町90番地  
TEL.052-503-1211 FAX.052-505-2712  
URL http://www.urano-s.co.jp/  
E-mail:h-urano@urano-s.co.jp  
東京本社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-3-12(本郷ビル5F)  
TEL.03-3811-9128 FAX.03-3811-9582  
再生紙使用



建築・積算・見積  
有限会社 エスム積算  
(社)日本建築積算協会会員

代表取締役 松岡 征紀

本社 〒503-0944  
岐阜県大垣市横曽根4丁目13番地  
TEL (0584) 89-2550・FAX (0584) 89-7841

東京事務所 〒105-0014  
東京都港区芝1丁目13番16号・NBC芝橋ビル4階  
TEL (03) 3452-7164

取締役 名古屋事務所所長  
小森 直樹  
KOMORI NAOKI



Enishi C.M Office

えにし  
株式会社 縁

名古屋事務所  
〒460-0633 名古屋市中区錦1丁目18番22号  
TEL 052-218-2062 FAX 052-218-2063  
携帯 080-3969-0901  
E-mail:komori@enishi-cm.co.jp  
本社:福岡 事業所:福岡・広島・大阪・東京 営業所:大阪



株式会社 えん 円建築積算

代表取締役 廣瀬 稔  
MINORU HIROSE

一級建築士・建築積算資格者・宅地建物取引主任者

〒452-0805 名古屋市中区市場木町32  
ITO BLD 2階  
TEL 052(503)0366  
FAX 052(503)0663  
URL http://www.ennsekisan.gol.com

有限会社 川崎建築積算

代表取締役  
川崎 外志男  
建築積算資格者・一級建築士

〒918-8026  
福井市湖4丁目205 ショッピングプラザFYビル  
TEL (0776) 33-1890  
FAX (0776) 33-1891  
E-mail kawa-to@nifty.com






**国豊積算株式会社**  
 専務取締役 箱崎一夫

〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田3-14-24 国豊ビル  
 TEL 052-332-0280 FAX 052-332-0945  
 URL <http://www.kunitoyo-sekisan.com>

積算だもの  
 だって  
 けんじ

齊藤 賢治 TEL:0566-85-3217

**白木建築積算**  
  
**白木 豊文**  
 Toyofumi Shiraki

〒501-3152 岐阜市岩滝西3-72  
 TEL:058-213-5879  
 FAX:058-213-5878  
 E-mail: [sks-toyo@coda.ocn.ne.jp](mailto:sks-toyo@coda.ocn.ne.jp)

有限会社 **高島建築積算事務所**  
  
 所 長 **高島義昭**  
 一級建築士

〒920-1165 石川県金沢市若松町2丁目9番地2  
 TEL(076)233-1330 FAX(076)233-1340  
 携帯電話 090-3293-6920  
 E-mail: [takasma@aqua.ocn.ne.jp](mailto:takasma@aqua.ocn.ne.jp)

**株式会社 笠谷建築積算事務所**

代表取締役 会長 **とぎ 剛 谷 智 彦**  
 代表取締役 社長 **剛 谷 将 紀**

名古屋本社 〒466-0841 名古屋市昭和区広路本町 6-11-2  
 TEL (052) 859-0686  
 FAX (052) 859-0687  
 静岡事務所 〒413-0102 静岡県熱海市下多賀 45-5  
 TEL (0557) 68-5842  
 FAX (0557) 68-5844

(社) 全日本不動産協会会員 富山県知事 (1) 第 2807 号  
**TSC** 有限会社 富山積算センター

代表取締役 **笠 谷 正**  
 (社) 日本建築積算協会会員 積算資格者

不動産部 取引主任者 登録番号 005426  
 〒933-0838 富山県高岡市北島 45 番地  
 電話 (0766) 22-3366  
 FAX (0766) 22-3388  
 携 帯 090-1392-7876  
 E-mail [tsc-tk@dream.ocn.ne.jp](mailto:tsc-tk@dream.ocn.ne.jp)

株式会社 **中野積算** 名古屋支社

支社長 **位 田 勝 彦**  
 KATSUHIKO INDEN

建築積算資格者  
 社団法人 日本建築積算協会会員

名古屋支社 名古屋市東区泉 1-13-35 YH久屋ビル  
 〒461-0001 TEL 052(955)6961 FAX 052(955)6960  
 E-mail: [k-inden@nakano-sekisan.co.jp](mailto:k-inden@nakano-sekisan.co.jp)  
 本 社 東京都杉並区荻窪 5-13-7  
 〒167-0051 TEL 03(3392)6121  
 支 社 大阪・名古屋・仙台・札幌・新潟

株式会社 **林 積 算**

代表取締役 **林 進**

〒460-0008  
 名古屋市中区栄五丁目25番30号 金馬ビル4階  
 TEL(052)262-3781 FAX(052)262-3783  
 E-mail [susumuh@aurora.ocn.ne.jp](mailto:susumuh@aurora.ocn.ne.jp)

# 2011 謹賀新年

## 積算事務所からの御挨拶

建築積算・コストコンサルタント  
Building Surveyor・Cost Consultant

有限会社 **富士積算**  
Fuji Sekisan CO.,LTD

Satoh Yoshihisa  
代表取締役 **佐藤 佳久** 建築積算資格者

〒460-0014 名古屋市中区富士見町13番22号 ファミール富士見2階  
TEL (052) 322-7051 FAX (052) 322-7052  
URL: <http://home.wondernet.ne.jp/~fuji/>



コストエンジニアリング&コンサルタント  
株式会社 **二葉積算**  
名古屋支社

常務取締役支社長  
**西田 彰**  
NISHIDA AKIRA 建築積算資格者

〒460-0003  
名古屋市中区錦2丁目17-30 (河越ビル)  
TEL 052-231-8336 (代表) FAX 052-231-6689  
E-mail [nishida@futaba-sekisan.co.jp](mailto:nishida@futaba-sekisan.co.jp)  
URL <http://www.futaba-sekisan.co.jp>  
本社/東京 支社/東京・大阪・広島・福岡・札幌




MATSUO ..... たちあがる、未来へ。

取締役 設計積算部 部長  
**松平 久芳**  
一級建築士  
h\_matsuhira@matsuo-corp.co.jp  
<http://www.matsuo-corp.co.jp/>

IS09001 認証取得




株式会社 **松尾工務店**  
〒918-8204 福井市南四ツ居1丁目1-14  
TEL 0776-54-0640 (代) FAX 0776-54-0561



— 建築物のコスト算出 —  
有限会社  
**見積センター**

代表取締役 **長谷川 明宏**  
(建築積算士)

〒514-0811 三重県津市阿漕町津興280-43  
TEL (059) 229-7251  
FAX (059) 229-7252  
<http://www.mitsumori-center.co.jp>  
[hasegawa\\_akihiro@mitsumori-center.co.jp](mailto:hasegawa_akihiro@mitsumori-center.co.jp)




株式会社 **みどり建築企画**

(社)日本建築積算協会東北陸支部  
副支部長・教育委員長・HP委員

代表取締役 **藤井 正王**  
FUJII MASAO


名古屋市中区栄一丁目7番25号 サン・ミノビル602  
TEL 052-231-5822 FAX 052-231-5825  
〒460-0008 E-mail: [midorikk@mediacat.ne.jp](mailto:midorikk@mediacat.ne.jp)



株式会社 **棟 MUNE 建築企画**

代表取締役 **鳥居 哲夫**  
取締役 **和田 浩嗣**  
取締役 **中島 達司**  
取締役 **服部 欽守**

本社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-6-1 日誠丸の内ビル3階  
TEL : 052-602-9525 (代) FAX : 052-602-9526  
E-mail : [aqmunecp@mvg.biglobe.ne.jp](mailto:aqmunecp@mvg.biglobe.ne.jp)  
URL : <http://www.mune-kenchiku.co.jp>  
東京出張所 TEL : 03-5833-7481



MEIHO 明峰積算事務所

代表 **宮西 繁**  
建築積算士 (管理建築士) **篠田 奈々**

〒930-0861 富山県富山市有沢新町39  
(婦中事務所) TEL 076-425-7330  
FAX 076-425-7363  
(休日連絡先) TEL/FAX 076-491-9158  
E-mail : [s.miyanisi.toyama@nifty.com](mailto:s.miyanisi.toyama@nifty.com)



ヤマニシ建積プランニング

代表 **山西 栄一**

〒923-0977 石川県小松市額見町又2番地  
TEL (0761) 44-2844 FAX (0761) 44-1450  
携帯TEL 090-9446-1004  
E-mail [yamayama@tvk.ne.jp](mailto:yamayama@tvk.ne.jp)



# 2011 謹賀新年

## 賛助会員からの御挨拶

株式会社 **伊藤建築設計事務所**

代表取締役社長 森口雅文  
取締役 渡邊國雄

本社・名古屋事務所 名古屋市中区丸の内1-15-15 (桜通ビル)  
東京事務所 東京都千代田区外神田3-5-12 (聖公会神田ビル)  
<http://www.ito-aei.co.jp>


建築積算システム <b>FKS</b>	見積書作成システム KYOEI <b>COMPASS</b>
リニューアル用積算ソフト <b>RSS</b>	長期修繕計画表作成ソフト <b>KLC</b>

 **協栄産業株式会社** ソリューション営業部  
〒143-6565 東京都大田区平和島6-1-1 TRCアネックスビル  
【TEL】03-3767-2312 【FAX】03-3767-2318  
【E-mail】 fks@kyoei.co.jp 【URL】 <http://www.kyoei.co.jp/fks>

 **SUENAGA CO.LTD**


代表取締役  
**末永治生**

株式会社 **末永製作所**  
〒501-0606 岐阜県揖斐郡揖斐川町房島1822-3  
TEL.0585(22)0778(代)  
TEL.0585(22)5451(直)  
FAX.0585(22)2108

 **TOMOデータサービス株式会社**

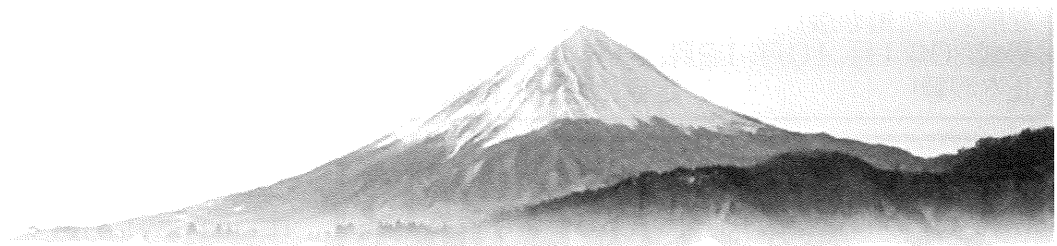
代表取締役  
**今岡朝和**

本社 〒531-0041 大阪市北区天神橋7丁目5-23 渋谷ビル  
TEL(06)6351-8452 FAX(06)6351-8925  
E-mail: imaoka@tomodata.co.jp  
<http://www.tomodata.co.jp>  
東京事務所 〒110-0015 東京都台東区東上野3丁目14-7 龍田ビル  
TEL(03)5816-7080 FAX(03)5816-7081

 **株式会社大成出版社**  
●グループ会社  
**株式会社たいせい**

代表取締役社長  
**松林久行**

謹賀新年



平成21年版

## 公共建築工事積算基準

監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部  
編集・発行/(財)建築コスト管理システム研究所

標準単価積算基準の改正と単品スライド条項、低  
入札価格調査基準の運用についての最新通達を  
収録!  
定価8,500円(税込)

[平成19年基準]

## 公共建築工事積算基準の解説

【建築工事編】・【設備工事編】

監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部  
編集・発行/(財)建築コスト管理システム研究所

【建築工事編】定価9,100円(税込)

【設備工事編】定価9,300円(税込)

新基準「公共建築工事標準単価積算基準」と「公  
共建築工事共通費積算基準」等の運用に役立つ  
解説、単価作成例を収録した最新版!

改訂3版

## 公共工事標準請負契約 約款の解説

編著/建設業法研究会

第11回改正(平成14年2月)、第12回(平成15  
年2月)、第13回(平成15年10月)の改正を踏ま  
えた最新刊!  
定価3,675円(税込)

新訂第2版

## わかりやすい建築基準法

編著/建築基準法令研究会

改正建築士法(平成21年5月一部適用)、改正省  
工不法(平成21年4月施行)、長期優良住宅法(平  
成21年6月施行)、住宅瑕疵担保履行法(平成  
21年10月施行)、歴史まちづくり法(平成20年  
11月施行)等にも対応!  
定価3,990円(税込)

四会連合協定

## 建築設計・監理業務委託 契約約款の解説

著/大森文彦・天野禎蔵・後藤伸一

設計・監理業務委託契約に強くなるう!  
平成21年7月改正の解説書!

定価3,700円(税込)

## 民間(旧四会)連合協定 工事請負契約約款の解説

編著/民間(旧四会)連合協定工事請負契約約款委員会

工事請負契約にも強くなるう!  
平成21年5月改正の解説書!

定価3,300円(税込)

改訂20版

## 建設業の許可の手びき

編著/建設業許可行政研究会

平成21年4月1日より施行された様式の書き方  
を解説した最新版!  
平成20年1月、10月、12月、21年4月の省令改  
正を収録!  
定価2,310円(税込)

## 建築工事安全施工技術 指針・同解説

監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課  
編集・発行/(社)公共建築協会

平成19年9月の改正を織り込んで全訂した最新  
版!施工中の安全確保の必携書!

定価4,400円(税込)



株式  
会社

大成出版社

<http://www.taisei-shuppan.co.jp/>

TEL:03-3321-4131 FAX:03-3325-1888  
〒156-0042 東京都世田谷区羽根木1-7-11

2011年  
3月22日  
リニューアル

インターネットによる  
建設工事積算の基礎データ

# Web建設物価 Ver.4

<http://www.web-kensetu-bukka.jp/>

本のイメージで、さらに見やすく  
～お客様のご希望にお応えします!!～

トップ画面イメージ



改良ポイント

1

検索機能が向上!!  
検索結果が自由にスクロール可能

改良ポイント

2

よく使う資材はマイページで!!  
付箋機能追加、登録件数アップ  
(1000件)

検索結果画面イメージ



改良ポイント

3

エクセルへの取り込み数拡大!!  
ダウンロード数さらにアップ  
(年間1200データ)

標準版  
50,400円※1  
年間(税込)

簡易版  
37,200円※2  
年間(税込)

単月版  
5,250円  
月間(税込)

※1 標準版は1つのUSBトークンで最大3人の方が同時にログインすることができます。  
(利用開始月のみ月刊「建設物価」1冊付)

※2 (利用開始月のみ月刊「建設物価」1冊付)

・・・財団法人 建設物価調査会から新サービスのご案内・・・

商品名称	年間価格	仕様・内容	提供時期
デジタル土木コスト情報	12,000円	<input checked="" type="checkbox"/> e-book 形態 <input checked="" type="checkbox"/> 価格情報量は会誌と同じ <input checked="" type="checkbox"/> 3ユーザーまで利用可 <input checked="" type="checkbox"/> USBトークンにて認証 <input checked="" type="checkbox"/> 過去5カ年分の閲覧	2011年3月下旬
デジタル建築コスト情報	15,800円		

開発元

私たちは建設資材や工事費等の価格調査を通じて  
社会資本の整備に貢献しています

**財団法人 建設物価調査会 情報システム部**

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町11番8号(フジスタービル日本橋)

Tel.03-3663-5170 Fax.03-3663-5171

お問い合わせ・お申し込み先

販売業務代行

**株式会社 建設物価サービス**

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町10番11号(日本橋府川ビル)

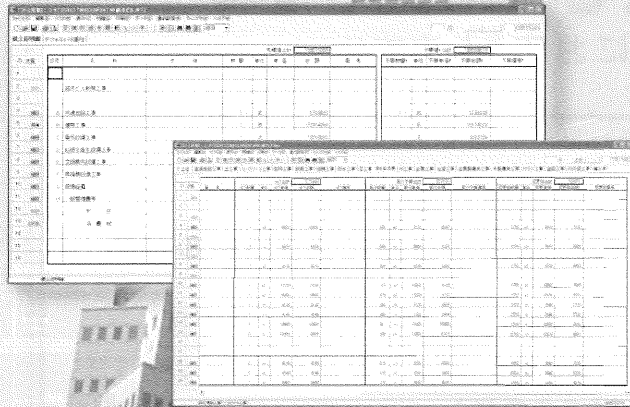
Tel.03-3663-8761 Fax.03-3663-1397

積算業務の効率化に貢献する

# TDS Application Series

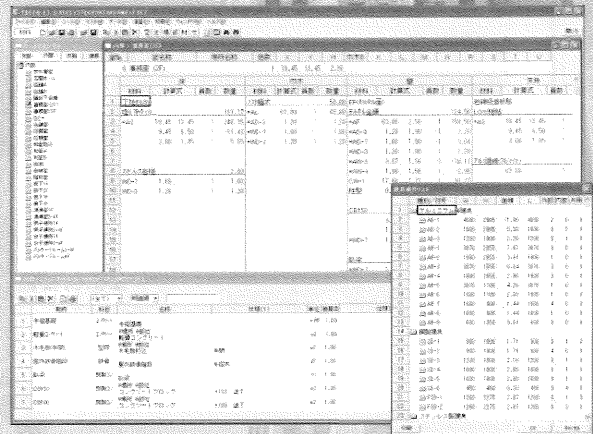
出荷本数7000本の実績明細書作成の超決定版!

Exa  
TDS [ 見積 ]



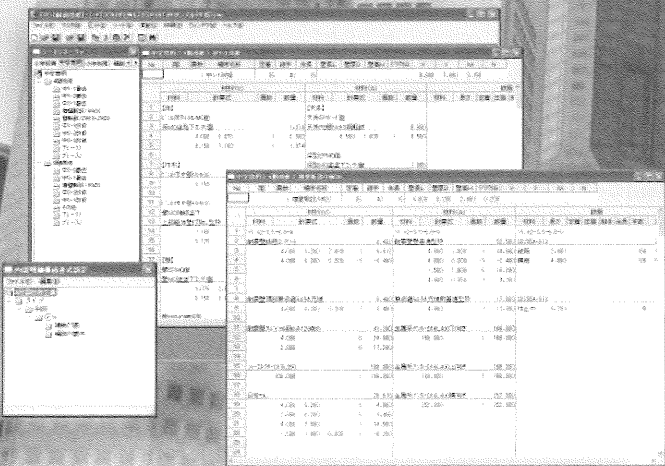
超簡単仕上拾い

TDS [ 仕上 ]



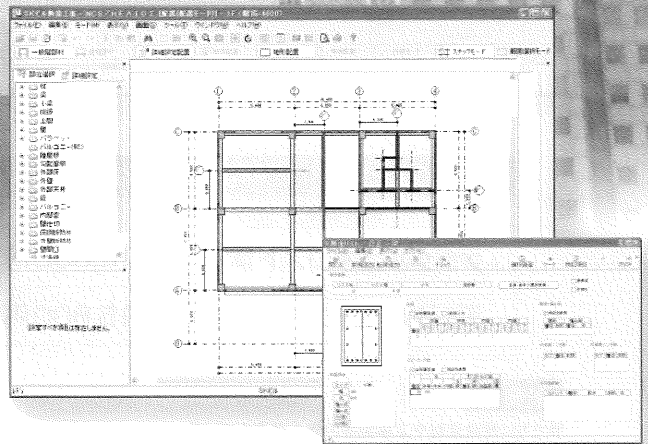
業界初! 耐震改修専用の積算システム!

TDS [ 耐震改修 ]



どんな建物にも対応

NCS/HEALIOS



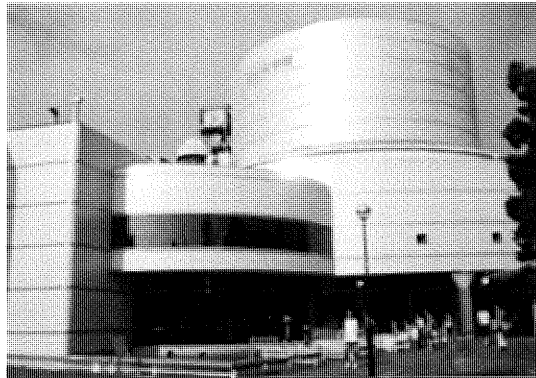
※NCS/HEALIOSは株式会社日積の商品です。



TOMOデータサービス株式会社

<http://www.tomodata.co.jp> E-mail [info@tomodata.co.jp](mailto:info@tomodata.co.jp)

大阪本社/ 〒531-0041 大阪市北区天神橋7丁目5-23 渋谷ビル TEL(06) 6351-8452 FAX(06) 6351-8925  
東京事務所/ 〒110-0015 東京都台東区東上野3丁目14-7 龍田ビル TEL(03) 5816-7080 FAX(03) 5816-7081



浜松科学館



エアパーク

## 編集後記

### 卯年！

今回は静岡県浜松市の浜松城及び周囲の施設を掲載しました。

昨年は『2010年、名古屋開府400年』で名古屋おもてなし武将隊などのお城ブームもあり東海地区の活性化につながったと思われます。

建築の業界でも JR 東海計画及び日本郵政などの計画も実際に着工され、名古屋駅周囲の活性化を期待できる計画です。各都市の駅周辺より再開発等の内容もあれば、各市町村では観光等のアピールとしても色々と工夫されています。

広報委員会では名古屋だけでなく東海北陸地区で今回の支部報の表紙に掲載したように各地区のPR等を伝えると共に新たな表紙の内容を考え元気な名古屋、東海北陸の情報を伝えていく予定です。

会員の皆様でも地元の観光地及び変わった建物等の情報があれば、掲載させていただきます。本年も1年間の本誌のご愛読を宜しくお願い致します。

広報委員	松本 利治	西田 彰
	桑名 利男	堀田 淳二
	松岡 征紀	長山 充裕
	吉原 光二	松平 久芳

#### 支部報 『東海北陸』 No.54

発行 社団法人日本建築積算協会  
東海北陸支部

名古屋市中区栄町四丁目3-26  
昭和ビル 2階

☎ (052) 264-0661 (代)

FAX (052) 264-0662

URL <http://bsi-th.052e.com/>

発行日 2011年2月 吉日

# 進化し続ける

## 建築積算・見積システム

### FKS RC [RC数量積算システム]

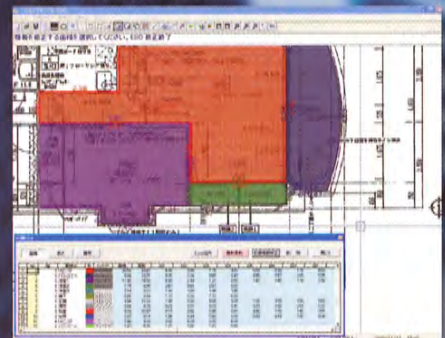
- 部材断面の入力をして、伏図配置すると、コンクリート・型枠・鉄筋及び土工事数量を自動算出
- 計算基準は「建築数量積算基準」、「公共建築工事標準仕様書」(平成22年版新基準に対応)に準拠し、自社用の基準登録も可能
- 伏図データはDXFへ変換、施工図や根切計画図として二次利用が可能



FKS RC伏図入力画面

### FKS FN [仕上数量積算システム]

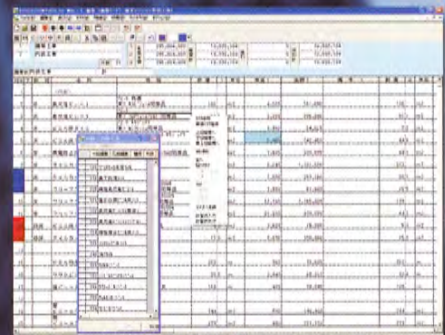
- 図面を画面に表示してマウスでなぞるだけで、素早く、簡単に長さ・面積を計測(オプション)
- 一度の拾いデータから、科目別、タイプ別、場所別、部屋別など最大22種類の集計が可能
- 設計変更前後の数量差分の自動印刷機能で、“拾う”積算から“提案”する積算へ



FKS FN-CL デジタイジング入力画面

### KYOEI COMPASS [見積書作成システム]

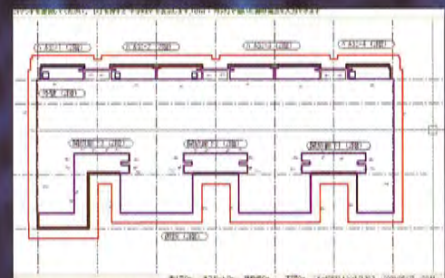
- 提出用の見積書作成から、社内管理、下見積管理(見積比較)、実行予算までデータ連動
- 単価マスター自動セット機能で値入作業の省力化を実現
- 提出、原価を睨んだ金額、数量、総額固定のシミュレーション機能を装備  
Excelとの双方向連動機能で社内・社外を問わずデータ連携が可能



KYOEI COMPASS入力画面

### RSS [リニューアル用積算システム]

- 図面を画面に表示してマウスでなぞるだけで、塗装・防水等の面積、シーリング長さを簡単計測
- 計算根拠を図面上に表記できる為、見積資料としてそのまま利用可能
- 外壁線を作成すればオフセット量(外壁線の出幅)を指定するだけで、足場寸法を自動算出



RSSデジタイジング入力画面

積算といえば協栄産業におまかせください!

<http://www.kyoei.co.jp/fks>

インターネットで

積算 FKS

検索

「積算・FKS」と検索してください

クリック!



エレクトロニクス分野を通して  
夢とゆとりのある社会の実現に貢献します。

協栄産業株式会社 ソリューション営業部

Email fks@kyoei.co.jp URL <http://www.kyoei.co.jp/fks>

【東京】〒143-6565 東京都大田区平和島6-1-1 TRCアネックスビル

TEL 03-3767-2312 FAX 03-3767-2318

【大阪】〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島3-14-24

TEL 06-6451-9781 FAX 06-6451-9810

協栄産業株式会社 会社概要

【資本金】31億 6,181万円 (2010年3月31日現在)

【総従業員数】1,302名 (協栄産業グループ合計/ 2010年3月31日 現在)

【株式上場】東京証券取引所 市場第一部「商業」

社団法人 日本建築積算協会賛助会員

一般社団法人 日本建築積算事務所協会賛助会員

社団法人 日本建築士事務所協会連合会賛助会員

財団法人 建設業振興基金 情報化評議会会員(CI-NET会員)